

ダスキン健康保険組合 事業所別 健康白書

ダスキン健康保険組合では、被保険者（働きさん本人）の健康維持・増進への取り組みとして、事業所の働きさんの健康推移と、各種取り組みの成果を数値的に分析し、目標値の進捗状況やデータヘルス計画に基づく結果の確認として昨年に続き『健康白書』を作成いたしました。

被保険者数

5,812人(令和元年度)^{※1} 6,348人(令和2年3月末)
(委託先) 株式会社 インテージテクノスフィア

ダスキン健康保険組合（被保険者：働きさん本人）の状況

事業所別の取り組みの効果が出ています。

(株)ダスキンは継続した取り組みが必要です

生活習慣改善プログラムへの登録率などは高く、積極的な取り組みがみられますが、生活習慣病の発症率、重症化合併症発症率が高く、リスク発生率も高い状態です。運動習慣や食事習慣など日々の生活改善に加え、**重症化予防への取り組みが必要です。**

サーヴ関係会社では取り組みの効果が継続されています

生活習慣改善プログラムやkencomへの登録率が高い水準で、**取り組みの効果が継続されています。**生活習慣病リスクや1人当たり医療費が下がっているところが多くある一方、生活習慣病発症率が上がっている事業所もあり、生活改善や重症化予防への取り組みが必要です。

プロダクト関係会社では取り組みの効果がでています

生活習慣病発症率が前年より増加している事業所が多いものの、合併症・重症化発症率が改善している事業所もみられます。kencomへの登録率が高い事業所もみられるようになり、喫煙率が減少しているところもあります。**積極的な取り組みが効果につながっています。**

健康意識は向上していますが、さらに生活習慣の見直しが必要です。

医療費は増加しています

平成30年度で減少した**医療費が増加**に転じています。1人あたり医療費も上昇し、特に60歳以上の1人あたり医療費は大きく上昇しています。生活改善や早期発見が見込める疾病が6割を占めていることもあり、**生活改善や早期受診、重症化予防への取り組みが必要です。**

生活習慣病の有所見率、発症率は増加しています

生活習慣病リスクが受診勧奨以上の方の割合、生活習慣病発症者、重症化・合併症発症率とも前年より増加し、いずれも上昇傾向です。まずは生活改善によるリスクの低下、**生活習慣病発症時は適切な受診をするなど重症化予防への確実な取り組みが必要です。**

特定保健指導未参加の事業所が増えています

特定保健指導の未参加事業所が増えています。特定保健指導は、生活習慣改善プログラムの中でも生活習慣病の発症予防の基本です。参加者の多くは改善しています。生活習慣改善プログラム該当者への参加促進が必要です。

がん検診の受診率は上がっています

がん検診の受診率は年々上昇していますが、婦人科がんで3割、大腸がんで2割にとどまっています。今年度も42人ががんを新規発症しています。早期発見を目的とし検査項目を拡充しています。検診受診への取り組みが必要です。

喫煙率は減少していますが全国平均より高い状態です

喫煙率は減少傾向ですが依然として**全国平均より高い状態です。**その中でも**男性は禁煙プログラムへの積極的な参加もあり、喫煙率が大きく減少**しています。女性の喫煙率も減少していますがさらに積極的な取り組みが必要です。

肥満率が増加傾向です

肥満率は男性の4割が肥満です。女性の肥満率は増加傾向です。肥満は血圧や脂質など生活習慣病のリスクにつながります。運動習慣、食事習慣の改善やkencomなどへの参加でリスク解消へつなげましょう。

※1 令和元年度（2019年4月1日～2020年3月31日）を通じて在籍した被保険者数健康白書では、この人数を対象として集計しています。

令和元年度 ダスキン健康保険組合健康白書 事業所別課題・施策一覧

項目	医療費		生活習慣病重症化予防		生活習慣病	生活習慣改善プログラム			喫煙	健診受診	がん検診		肥満・健康増進活動			
	1人当たり医療費が高い	60歳以上の1人当たり医療費が高い	生活習慣病における発症率が高い	生活習慣病における重症化・合併症発症率が高い	生活習慣病リスク発生率が高い※1	特定保健指導の申込率が低い	服薬者指導の申込率が低い	Under40生活改善プログラム申込率が低い	喫煙率が高い	健診受診率が低い	がん検診の受診率が低い	がん検診の有所見率が高い	肥満率が高い	kencom登録率が低い	適切な食事習慣を有する方の割合が低い※2	運動習慣ありの割合が低い
課題	課題個数															
施策	前期高齢者服薬指導プログラムの活用		生活習慣病対策(治療域(ハイリスク)向け生活習慣病重症化予防プログラムの活用)		健診有所見者への受診勧奨、予備群向けの生活習慣病重症化予防プログラム実施	特定保健指導プログラム、服薬者指導プログラム、Under40生活改善プログラムへの取組(該当者への参加促進)			禁煙対策(喫煙場所の変更、事業所内禁煙等)	健康診断の受診促進	がん検診の受診促進と有所見者への受診勧奨		健康増進活動への取組(健保組合主催のkencom歩活イベント活用)		健康増進活動への取組(健保組合主催の健康セミナー活用)	
事業所名																
ダスキン	4			●	●					●			●			
ダスキンヘルスケア	4	●	●								●			●		
サーヴ北海道	5	●		●					●	●			●			
サーヴ東北	2								●				●			
サーヴ北関東	1						●									
ダスキン伊那	2			●					●							
シャトル東京	4		●			●			●						●	
サーヴ東海北陸	3						●		●					●		
サーヴ近畿	2						●		●							
サーヴ中国四国	2				●								●			
サーヴ九州	2		●						●							
ダスキン沖縄	3									●	●		●			
和倉ダスキン	4			●			●	●		●						
小野ダスキン	2			●				●								
プロダクト北海道	4			●					●				●			●
プロダクト東北	3								●			●(胃がん)		●		
プロダクト東関東	3						●	●						●		
プロダクト西関東	5						●		●	●	●			●		
プロダクト東海	5	●	●		●				●	●				●		
プロダクト中四国	4	●			●	●								●		
プロダクト九州	4	●							●					●		●
エバーフレッシュ函館	6			●					●	●		●(肺がん)		●		●
エムディフード	6				●	●				●	●			●	●	
かつアンドかつ	5					●			●	●				●	●	
ダスキン共益	3	●	●													●

青文字の事業所は「健康経営優良法人2020」認定事業所(19法人)です。
 注記: 適用事業所のうち人員5人以下の事業所(ダスキン健康保険組合、ダスキン愛の輪基金)を除く25社を対象としています。

- ※ 令和元年度(H31/4/1~R2/3/31)を通じて在籍した被保険者を対象として集計しています。
- ※ 課題・施策とも健康白書の掲載内容から3点程度を設定(事業所の状況によっては増減あり)
- ※ 課題個数 4つ以上は赤字。●は課題4つ、●は課題5~6つ
- ※1 生活習慣病リスク 血圧、糖代謝、脂質代謝、腎機能のいずれかが緊急対応、優先対応の該当者
- ※2 適切な食事習慣を有する者とは、食事習慣に関する質問項目のうち3つ以上が適切であるものをいう
 食事習慣に関する質問: 朝食抜き週3回未満、早食いをしない、寝る前2時間以内の食事週3回未満、間食は毎日ではない

「健康経営優良法人2020」認定事業所(19法人)で着実に効果が出ています

「健康経営優良法人」認定事業所では、各社でさまざまな取り組みを行っています。前年度と比べ、生活習慣改善プログラムへの申込率の増加、kencom登録率の増加など、各社で積極的に取り組んだ改善活動の効果が着実に出ています。

働きさん(被保険者) 令和元年度健康通信簿 (事業所別・グループ別)

□:ダスキン健保平均またはダスキングループ平均より悪い状態

赤字: 前年より悪い状態

青文字の事業所は「健康経営優良法人 2020」認定事業所(19 法人)

金額は小さい方が健康な状態です。

割合は生活習慣改善プログラム、kencom登録率は高い方が、それ以外は低い方が健康な状態です。

グループ名 事業所名称	人数 ^{※1}	平均 年齢	1人 当たり 医療費	60歳 以上の 1人当たり 医療費	生活習慣病 における 発症率 (糖尿・ 高血圧・ 脂質異常)	生活習慣病 における 重症化・合併 症発症率 (脳・心臓など)	生活習慣病 リスク受診 勧奨以上 発症率 ^{※2}	肥満率	喫煙率	生活習慣改善プログラム申込状況 ^{※5}			kencom 登録率 ^{※4}
										特定保健 指導の 申込率	服薬者 指導の 申込率	Under40 の申込率	
		(歳)	(円)	(円)	%	%	%	%	%	%	%	%	%
ダスキン健保平均	5,812	47.9	177,009	392,195	27.4%	5.6%	19.2%	30.0%	29.1%	40.3%	39.8%	34.6%	38.8%
ダスキン	2,502	47.4	173,004	298,940	27.4%	6.5%	20.6%	33.6%	26.7%	51.6%	50.5%	45.9%	46.2%
訪問グループ・法人	1,588	47	150,614	255,885	25.1%	5.5%	20.2%	33.5%	27.2%	49.2%	50.0%	50.0%	45.0%
本部	726	47.7	156,160	294,400	26.7%	5.8%	19.8%	35.6%	26.3%	50.8%	69.6%	70.0%	57.7%
地域	231	52.3	198,055	296,109	34.2%	7.4%	24.2%	46.3%	32.2%	63.5%	59.4%	0.0%	63.5%
直営	631	44.2	126,885	212,409	20.0%	4.4%	19.2%	26.4%	26.4%	34.4%	6.3%	31.0%	23.8%
生産本部	287	48.1	168,693	260,169	28.9%	6.6%	22.0%	29.0%	28.0%	46.9%	75.0%	20.0%	26.5%
本部	85	47.7	129,413	249,728	25.9%	0.0%	24.7%	26.7%	23.5%	81.8%	100.0%	0.0%	55.3%
地域	13	41.6	146,413	0	15.4%	7.7%	23.1%	46.2%	30.8%	50.0%	100.0%	33.3%	61.5%
工場	189	48.7	187,213	262,893	31.2%	9.5%	20.7%	28.9%	29.8%	26.3%	68.4%	25.0%	11.1%
フードグループ	286	46.3	203,216	545,013	29.0%	8.0%	20.5%	41.1%	32.2%	64.0%	38.7%	50.0%	53.5%
本部	153	48.1	251,715	683,128	36.6%	11.1%	21.2%	46.1%	34.4%	57.1%	40.9%	50.0%	53.6%
地域	66	48.8	180,181	479,200	22.7%	6.1%	27.7%	54.4%	43.1%	76.2%	60.0%	66.7%	71.2%
直営	67	39.8	113,492	322,730	17.9%	3.0%	11.9%	16.4%	16.4%	0.0%	0.0%	0.0%	35.8%
本社等	315	50.5	227,313	244,588	36.8%	9.8%	21.2%	31.9%	16.9%	57.5%	46.2%	57.1%	63.7%
ダスキンヘルスケア	1,114	51.1	210,470	474,725	27.9%	6.2%	18.8%	24.9%	26.2%	28.3%	6.5%	21.1%	14.6%
サーヴ北海道	113	46.3	219,997	141,985	37.2%	3.5%	18.9%	37.8%	42.3%	83.3%	85.7%	100.0%	97.3%
サーヴ東北	107	45.9	114,401	56,890	20.6%	1.9%	16.8%	32.1%	43.0%	42.9%	20.0%	25.0%	54.8%
サーヴ北関東	116	45.8	132,044	249,834	22.4%	1.7%	16.5%	23.7%	30.4%	50.0%	0.0%	50.0%	56.6%
ダスキン伊那	16	48.4	149,106	52,035	43.8%	12.5%	12.5%	25.0%	37.5%	100.0%	100.0%	—	93.8%
シャトル東京	97	41.7	153,293	5,627,840	11.3%	4.1%	13.5%	20.8%	36.5%	0.0%	50.0%	0.0%	75.3%
サーヴ東海北陸	259	44.9	136,353	228,517	21.2%	2.3%	18.6%	26.5%	39.9%	12.5%	18.2%	0.0%	31.6%
サーヴ近畿	107	45.9	116,559	415,533	22.4%	1.9%	13.1%	29.6%	32.7%	0.0%	33.3%	0.0%	36.8%
サーヴ中国四国	131	46.9	101,279	128,346	27.5%	4.6%	24.6%	36.6%	30.0%	13.6%	33.3%	12.5%	43.1%
サーヴ九州	204	47	185,028	526,574	32.8%	4.4%	16.7%	27.9%	42.2%	27.8%	46.2%	22.2%	62.0%
ダスキン沖縄 ^{※3}	39	42	77,190	25,470	17.9%	2.6%	10.8%	51.4%	24.3%	14.3%	100.0%	42.9%	42.1%
和倉ダスキン	89	50.7	128,648	140,496	34.8%	5.6%	18.4%	22.8%	11.8%	33.3%	0.0%	0.0%	36.4%
小野ダスキン	124	44	123,336	132,383	35.5%	5.6%	17.7%	25.7%	13.7%	30.0%	21.4%	0.0%	44.7%
プロダクト北海道	46	50.8	202,487	162,997	32.6%	6.5%	10.9%	26.1%	37.0%	25.0%	0.0%	0.0%	20.0%
プロダクト東北	40	48	71,975	218,798	17.5%	5.0%	5.0%	22.5%	37.5%	33.3%	—	40.0%	22.5%
プロダクト東関東	94	43.9	92,991	222,500	18.1%	2.1%	11.8%	26.5%	32.6%	30.0%	0.0%	0.0%	21.5%
プロダクト西関東	83	47	152,952	108,145	30.1%	3.6%	18.3%	25.3%	42.7%	0.0%	0.0%	33.3%	16.0%
プロダクト東海	69	49.4	253,182	1,094,857	26.1%	5.8%	23.5%	27.9%	29.4%	85.7%	83.3%	100.0%	30.9%
プロダクト中四国	77	48.2	256,527	441,479	27.3%	5.2%	23.4%	27.3%	19.5%	0.0%	40.0%	25.0%	33.8%
プロダクト九州	70	48	231,706	172,154	21.4%	2.9%	12.9%	23.3%	40.0%	12.5%	—	0.0%	15.7%
エバーフレッシュ函館	51	51.2	202,897	319,540	33.3%	5.9%	4.0%	26.0%	44.0%	16.7%	40.0%	50.0%	31.4%
エムディフード	80	40.6	69,991	86,868	23.8%	1.3%	21.8%	30.8%	24.7%	0.0%	—	20.0%	21.1%
かつアンドかつ	50	44.7	86,387	100,095	20.0%	2.0%	14.6%	27.1%	43.8%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
ダスキン共益	30	45.7	412,264	3,882,540	26.7%	3.3%	13.3%	23.3%	16.7%	100.0%	50.0%	100.0%	90.0%

注記: 適用事業所のうち人員5名以下の事業所(ダスキン健康保険組合、ダスキン愛の輪)を除く25社を対象としています。

グループ名は2020年4月1日時点の組織で表示。組織規程に基づく名称とは異なります。

※1: 令和元年度(H31/4/1~R2/3/31)を通じて在籍した被保険者を対象として集計しています。

※2: 生活習慣病リスク 血圧、糖代謝、脂質代謝、腎機能のいずれかが緊急対応、優先対応の該当者

※3: ダスキン沖縄は令和元年度より掲載のため前年度との比較なし

※4: 2020年5月15日時点の登録率

※5: 生活習慣改善プログラム申込状況「- (ハイフン)」はプログラム対象者0人

令和元年度 ダスキン健康保険組合生活習慣病リスク状況

生活習慣病は生活習慣の改善で重症化疾患を予防できる疾患です

ダスキン健康保険組合の生活習慣病リスク状況を見ると、5人に1人はメタボ該当・予備群でした。生活習慣病である糖尿病、高血圧症、脂質異常症で病院を受診している方は500~1,000人と、いずれも年々増加しています。また合併症などで病気が重症化している方のべ112人います。生活習慣病はご自身の生活習慣を改善することで重症化を予防できる疾患です。

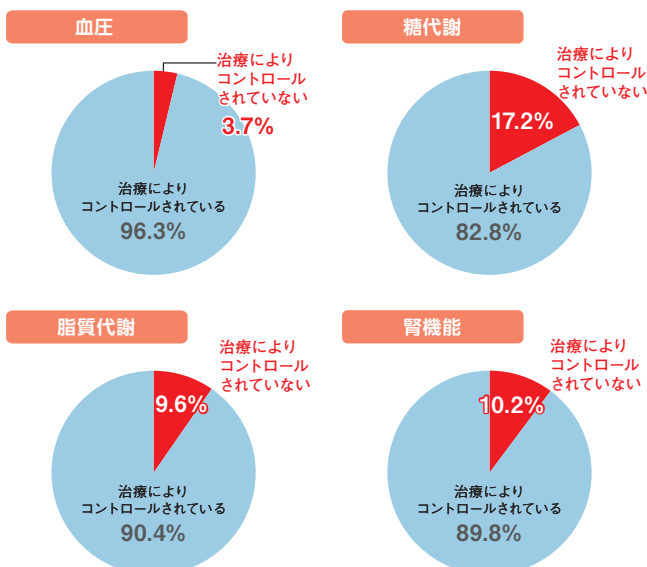
ダスキン健康保険組合では生活改善や重症化対策を目的とした『健康支援プログラム』で必要な方への参加を呼び掛けています。ご自身の健康や生活習慣を見直す機会としてぜひご利用ください。

※ダスキン健保全体の令和元年度在籍者（n=5,812、男性：3,069、女性：2,743）を対象として集計しています。
※（ ）内は前年度数値です。



生活習慣病関連医療機関受診によるコントロール状況（被保険者）

平成30年度の健診結果で生活習慣病リスクあり（優先対応、緊急対応該当）の方で平成30年度に治療中となった方の翌年（令和元年）度の状況を確認しました。以下のグラフは、該当の方が治療があった翌年も生活習慣病リスクがある（優先対応、緊急対応）場合は、治療によるリスクコントロールがされていないものとみなしています。



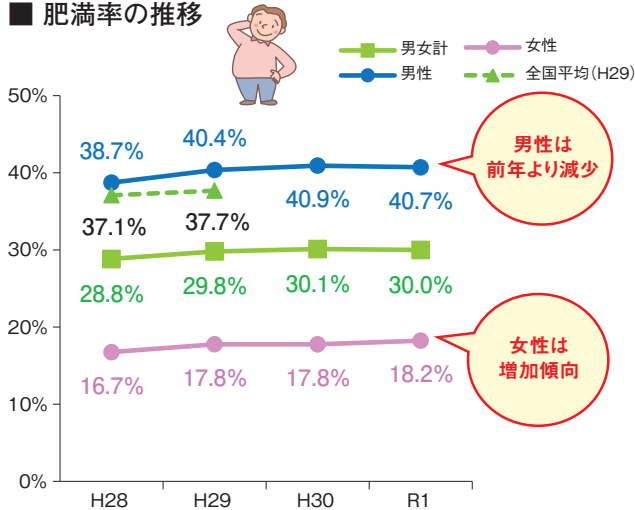
前年度、治療中の方でも多いもので2割程度の方が、治療によりコントロールできていない状況です。通院、服薬をやめてしまっている、生活習慣が見直されていないなどの理由が考えられます。

適切な通院、服薬、また、生活習慣の見直しで、リスクは下がっていきます。ダスキン健保では、服薬者指導などの生活習慣改善プログラムで、みなさんの取り組みをサポートしています。積極的にご参加ください。



肥満率と喫煙率に関する状況 (被保険者)

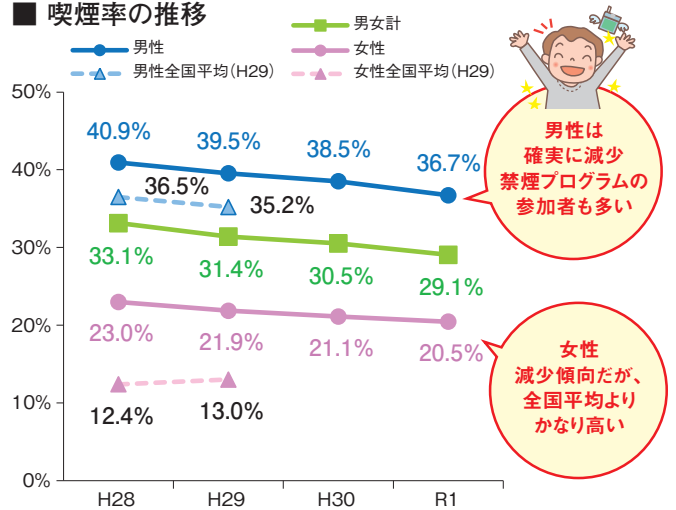
■ 肥満率の推移



肥満率は30.0%と全国平均と比べると低いものの、およそ3割が『肥満』です。男性の肥満率は4割を超え、女性は年々増加傾向です。肥満は生活習慣病のリスクを高めます。『生活習慣改善プログラム』などや『kencom』イベントを活用して肥満の解消に取り組みましょう。

※肥満率=腹囲基準該当者(男性85cm以上、女性90cm以上)またはBMI25以上該当者+腹囲またはBMI受診者
※全国平均出典:「健診検査値からみた加入者(40~74歳)の健康状態に関する調査分析」(H28,H29 健康保険組合連合会)

■ 喫煙率の推移

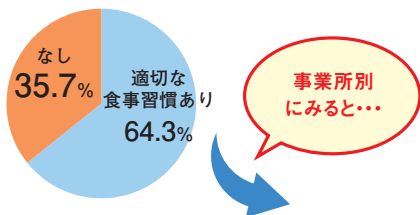


喫煙率は30.5%と年々減少していますがおよそ3人に1人が喫煙者です。男女とも全国平均より高く、特に女性の喫煙率は全国平均を大きく上回っています。喫煙はご自身だけでなく、受動喫煙によって周囲の方の健康リスクも高まります。禁煙外来などを活用した積極的な禁煙への取り組みが急がれます。

※全国平均出典:「健診検査値からみた加入者(40~74歳)の健康状態に関する調査分析」(H28,H29 健康保険組合連合会)

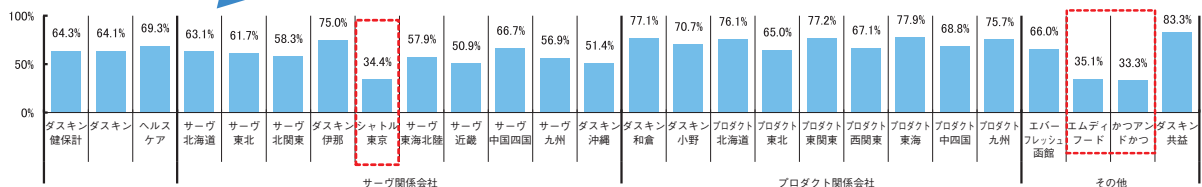
食事習慣の状況 (被保険者)

■ 適切な食事習慣あり*1の割合 (n=4,046)



*1 適切な食事習慣を有する者とは、食事習慣に関する質問項目(朝食抜き週3回未満、早食いをしない、寝の前2時間以内の食事週3回未満、間食を時々またはほとんどしない)のうち3つ以上が適切であるものをいう

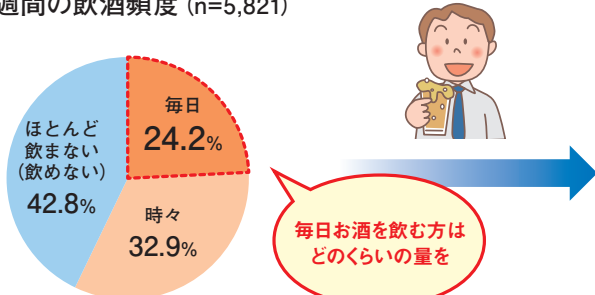
事業所によっては適切な食事習慣がある方の割合が4割以下のところがあります。食事をとるタイミングや食べ方など具体的な取り組みが必要です。生活習慣改善プログラムの対象になった方は、食事習慣改善を目的としたコースを選択してください。



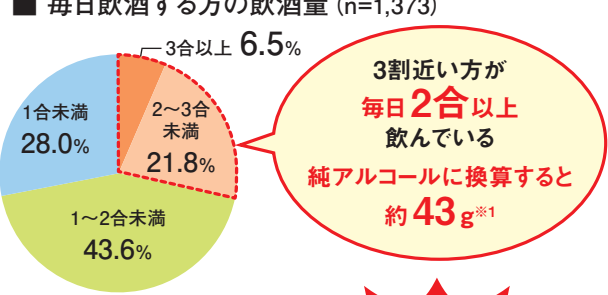
飲酒状況 (被保険者)

健康診断の問診結果から飲酒頻度と飲酒量について確認しました。

■ 1週間の飲酒頻度 (n=5,821)



■ 毎日飲酒する方の飲酒量 (n=1,373)



厚生労働省が推奨するお酒の適量の目安は、1日あたり純アルコールで男性で20g、女性では10gとされています。目安を超えた飲酒は肝機能リスクが高まるだけでなく、アルコール依存症のリスクも高まります。アルコール度数や飲酒量に注意しましょう。

【参考】アルコール量の計算式

お酒の量 (ml) × (アルコール度数% ÷ 100) × 0.8 (アルコールの比重)

例: 日本酒2合 (15度) の場合……180 × 2 × (15 ÷ 100) × 0.8 = 43.2g ★適量オーバー★

※1 日本酒2合 (15度) で換算

適量の目安
20gの2倍以上